**実験A-2**

**実験概要**

後述する４つの作業を実施してください。

作業にかかった時間をスプレッドシートに記録してください。

作業時間の上限は8時間です。8時間を超えた場合、作業を終了してください。

**作業前の準備**

スプレッドシートのファイル名を「名前\_実験A-2.xlsx」に変更してください。

例）依田みなみ\_実験A-2.xlsx

**作業１**

dockerとGitをインストールしてください。インストールが完了したら、「docker」と「docker-compose」と「git」コマンドが動作するかターミナル等で確認してください。コマンドの動作を確認したら、作業１にかかった時間をスプレッドシートに記録してください。

* dockerのダウンロードページ

<https://www.docker.com/products/docker-desktop/>

* Gitのダウンロードページ

<https://git-scm.com/downloads/>

**作業２**

以下のgitリポジトリをダウンロードし、マニュアル（README.md）の「環境構築」にそってdockerを起動してください。

dockerが起動したら、ホストPCのWEBブラウザからhttp://127.0.0.1:8080/にアクセスし、VM環境（docker）が起動しているか確認してください。

ファイルマネージャーから/root/firmusa/ghidra\_10.1.5\_PUBLIC\_20220726/ghidraRunにアクセスし、Ghidraを起動してください。

Ghidraの起動画面をスクリーンショットで撮影し、作業２にかかった時間をスプレッドシートに記録してください。スクリーンショットもスプレッドシートに貼り付けてください。

* Gitリポジトリ

<https://github.com/usaribbon/firmddle_docker>

* ↑のGitリポジトリのZip版

<https://github.com/usaribbon/firmddle_docker/archive/refs/heads/main.zip>

**作業３**

マニュアルの「ファームウェアを分割する」に従って、ファームウェアを分解してください。Dockerのターミナルから、/mnt/raw\_firmwares/extracted/に分解したファイル群が保存されていることを確認してください。作業３にかかった時間を記録してください。

**作業４**

マニュアルの「Ghidraにファームウェアをインポートする」の手順に従って、ファームウェアをGhidraにインポートしてください。

インポート終了後、Ghidraで/mnt/raw\_firmwares/ghidraprj/elf\_r13832-Aceex22.repを開いてください。

Ghidraでelf\_r13832-Aceex22.repを開いた画面をスクリーンショットで撮影し、作業４にかかった時間をスプレッドシートに記録してください。スクリーンショットもスプレッドシートに貼り付けてください。

お疲れ様でした。

スプレッドシートを依田（[yoda.minami@ohsuga.lab.uec.ac.jp](mailto:yoda.minami@ohsuga.lab.uec.ac.jp)）までご送付ください。